

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東大

上場会社名 吉本興業株式会社

コード番号 9665 URL <http://www.yoshimoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大崎 洋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 溝上 篤史

TEL 03-3209-8302

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	22,953	3.3	1,021	△35.5	970	△36.4	426	13.1
21年3月期第2四半期	22,224	—	1,583	—	1,525	—	377	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	11.67	—
21年3月期第2四半期	9.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	61,434	45,255	73.3	1,231.59
21年3月期	61,737	45,090	72.7	1,226.29

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 45,045百万円 21年3月期 44,853百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,700	△2.4	4,700	7.8	4,500	11.9	1,950	218.6	52.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	39,006,803株	21年3月期	39,006,803株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,432,058株	21年3月期	2,430,537株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	36,575,898株	21年3月期第2四半期	38,082,224株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気に下げ止まりが見られたものの、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など国内経済は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済情勢のもと、当社グループにおきましては、「タレントマネジメントを基盤としたコンテンツ制作会社」として、従来から行ってまいりました事業分野の強化に加え、新たなメディアであるインターネット、携帯電話端末に向けたコンテンツの制作や、海外へも展開しやすいスポーツ分野への進出、映画の製作など、当社グループの発展に不可欠と考えられる事業にも積極的に取り組み、グループ全体で制作能力の強化およびタレントの活躍の場を拡げていくことに注力してまいりました。

この一環として、携帯電話のキャリア会社との提携を通じて、携帯電話向けコンテンツ配信から多メディアへと展開する新しいプロジェクトである「S-1バトル」の運営を行ってまいりました。また、本年4月には「よしもとプリンスシアター」をオープンしたほか、昨年へ続き、「LIVE STAND 09」と題したお笑いフェスティバルを、本年7月に3日間開催いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、劇場において、新型インフルエンザの影響により、団体予約のキャンセルがあり、入場者数が大幅に減少いたしました。一方、CD・DVD販売につきましては、堅調に推移いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間において、持分法適用会社の株式の一部を売却したことに伴い、税効果の実現したため、法人税等の額が減少しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における営業収入は、22,953百万円（前年同期比3.3%増）となりました。また経常利益は970百万円（前年同期比36.4%減）、四半期純利益は426百万円（前年同期比13.1%増）となりました。

事業の種類別セグメントの状況は、以下のとおりであります。

制作

当部門におきましては、テレビ番組の受託制作や番組出演などに係る営業収入が、前年同期に比べて減少いたしました。

また、DVDが売上を伸ばしたことに加え、新たなメディアに向けたコンテンツ制作などが好調に推移いたしました。

以上の結果、当部門の営業収入は20,605百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

不動産

当部門におきましては、賃貸用不動産の一部につき、テナントが未入居となっていることから、当第2四半期連結累計期間における当部門の営業収入は670百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

事業

当部門におきましては、新型インフルエンザの影響による劇場入場者数の減少に伴い、劇場に併設する店舗での売上が減少いたしました。

以上の結果、当部門における営業収入は1,677百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ303百万円（0.5%）減少の61,434百万円となりました。流動資産は現金及び預金の増加、未収還付法人税等の減少などにより、前連結会計年度末に比べ916百万円（3.5%）増加し、27,378百万円となりました。固定資産は34,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,219百万円（3.5%）減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ468百万円（2.8%）減少し、16,178百万円となりました。流動負債は、固定負債に計上しておりました長期借入金が1年内返済予定の長期借入金に振り替わったことによる増加などにより、前連結会計年度末に比べ412百万円（3.1%）増加し、13,812百万円となりました。固定負債は、長期借入金が減少したことなどにより881百万円（27.1%）減少し、2,366百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の部は、配当金の支払による利益剰余金の減少およびその他有価証券評価差額金の増加などにより45,255百万円（前連結会計年度末比0.4%増）となりました。

以上の結果、自己資本比率は73.3%（前連結会計年度末72.7%）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、18,750百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に法人税等の還付額、税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び減損損失の計上等により増加し、仕入債務の減少および法人税等の支払額等が減少要因となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、8,305百万円の資金の増加（前年同期比13,006百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に無形固定資産の取得による支出により、669百万円の資金の減少（前

年同期比1,185百万円増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に短期借入金の返済および配当金の支払により、1,020百万円の資金の減少(前年同期比525百万円増)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における業績は、通期業績予想策定時の見込みに概ね沿ったものであります。従いまして、現時点では平成21年5月15日発表の業績予想と変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,750	12,435
営業未収入金	5,575	5,940
たな卸資産	1,098	878
その他	2,124	7,345
貸倒引当金	170	139
流動資産合計	27,378	26,461
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,829	5,958
土地	6,286	6,271
その他(純額)	632	511
有形固定資産合計	12,749	12,742
無形固定資産		
のれん	4,610	4,754
その他	1,991	2,810
無形固定資産合計	6,601	7,564
投資その他の資産		
投資有価証券	7,853	7,969
その他	6,989	7,137
貸倒引当金	137	138
投資その他の資産合計	14,705	14,969
固定資産合計	34,056	35,276
資産合計	61,434	61,737
負債の部		
流動負債		
営業未払金	7,079	7,281
短期借入金	1,600	2,200
1年内返済予定の長期借入金	1,000	-
未払法人税等	201	13
引当金	404	429
その他	3,526	3,474
流動負債合計	13,812	13,399
固定負債		
長期借入金	-	1,001
退職給付引当金	601	581
役員退職慰労引当金	256	216
長期預り保証金	1,248	1,234
負ののれん	28	30

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
その他	233	183
固定負債合計	2,366	3,248
負債合計	16,178	16,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,806	4,806
資本剰余金	14,219	14,219
利益剰余金	28,195	28,042
自己株式	2,189	2,249
株主資本合計	45,032	44,818
評価・換算差額等		
其他有価証券評価差額金	94	70
為替換算調整勘定	81	36
評価・換算差額等合計	13	34
少数株主持分	210	237
純資産合計	45,255	45,090
負債純資産合計	61,434	61,737

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業収入	22,224	22,953
営業原価	18,068	19,285
営業総利益	4,156	3,667
販売費及び一般管理費	2,573	2,646
営業利益	1,583	1,021
営業外収益		
受取利息	15	2
受取配当金	86	58
製作委員会投資運用益	-	94
還付加算金	-	194
その他	83	22
営業外収益合計	185	373
営業外費用		
支払利息	21	27
持分法による投資損失	190	190
支払報酬	-	173
その他	31	31
営業外費用合計	243	424
経常利益	1,525	970
特別利益		
関係会社株式売却益	-	103
貸倒引当金戻入額	19	0
その他	0	-
特別利益合計	20	103
特別損失		
固定資産除却損	54	5
減損損失	157	533
投資有価証券評価損	315	32
その他	20	-
特別損失合計	547	571
税金等調整前四半期純利益	997	502
法人税等	646	102
少数株主損失()	26	26
四半期純利益	377	426

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
営業収入	11,731	12,784
営業原価	9,473	10,717
営業総利益	2,258	2,066
販売費及び一般管理費	1,303	1,364
営業利益	954	702
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	0	-
製作委員会投資運用益	-	1
還付加算金	-	181
その他	52	5
営業外収益合計	63	190
営業外費用		
支払利息	9	13
持分法による投資損失	37	40
支払報酬	-	173
その他	18	22
営業外費用合計	65	250
経常利益	953	641
特別利益		
関係会社株式売却益	-	103
貸倒引当金戻入額	16	0
特別利益合計	16	103
特別損失		
固定資産除却損	52	4
減損損失	157	533
投資有価証券評価損	46	107
特別損失合計	256	430
税金等調整前四半期純利益	713	315
法人税等	386	29
少数株主損失()	8	9
四半期純利益	335	354

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	997	502
減価償却費	1,078	1,053
減損損失	157	533
のれん償却額	140	141
持分法による投資損益(は益)	190	190
退職給付引当金の増減額(は減少)	13	19
賞与引当金の増減額(は減少)	51	6
役員賞与引当金の増減額(は減少)	59	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	21	39
返品調整引当金の増減額(は減少)	45	31
受取利息及び受取配当金	101	61
支払利息	21	27
投資有価証券評価損益(は益)	315	32
関係会社株式売却損益(は益)	-	103
製作委員会投資運用損益(は益)	-	94
固定資産除却損	54	5
売上債権の増減額(は増加)	79	866
たな卸資産の増減額(は増加)	208	219
仕入債務の増減額(は減少)	1,321	228
その他の流動資産の増減額(は増加)	43	320
その他の固定資産の増減額(は増加)	12	32
その他の流動負債の増減額(は減少)	531	203
その他の固定負債の増減額(は減少)	1	-
預り保証金の増減額(は減少)	214	-
その他	11	56
小計	752	2,821
利息及び配当金の受取額	100	61
利息の支払額	21	25
法人税等の支払額	5,532	299
法人税等の還付額	-	5,747
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,701	8,305

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	300
有形固定資産の取得による支出	66	371
無形固定資産の取得による支出	525	574
関係会社株式の取得による支出	27	-
関係会社株式の売却による収入	-	265
投資有価証券の取得による支出	1,059	316
投資有価証券の売却による収入	22	-
短期貸付けによる支出	73	49
短期貸付金の回収による収入	83	66
製作委員会投資による収入	-	51
投資その他の資産の取得による支出	283	37
その他	76	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,854	669
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,550	5,200
短期借入金の返済による支出	2,550	5,801
少数株主からの払込みによる収入	4	-
自己株式の取得による支出	834	1
配当金の支払額	467	398
少数株主への配当金の支払額	242	-
その他	5	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,546	1,020
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	8,102	6,615
現金及び現金同等物の期首残高	23,761	12,135
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	0	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,658	18,750

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	制作 (百万円)	不動産 (百万円)	事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,375	359	1,048	12,784	-	12,784
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	84	406	67	558	(558)	-
計	11,459	766	1,115	13,342	(558)	12,784
営業費用	10,481	608	1,125	12,214	(132)	12,082
営業利益(又は営業損失)	978	157	(9)	1,127	(425)	702

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	制作 (百万円)	不動産 (百万円)	事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	20,605	670	1,677	22,953	-	22,953
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	115	792	106	1,014	(1,014)	-
計	20,720	1,463	1,784	23,968	(1,014)	22,953
営業費用	19,014	1,167	1,889	22,070	(138)	21,932
営業利益(又は営業損失)	1,706	295	(104)	1,897	(876)	1,021

〔所在地別セグメント情報〕

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成21年6月25日開催の定時株主総会の決議により剰余金の配当を行っております。

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月25日 定時株主総会	普通株式	412	11.0	平成21年3月31日	平成21年6月26日	利益剰余金